



2

展

開

4人以下(5人以上では発言できない、発言しない生徒が出てきます。)のグループで交流の場を設定しましょう。

- 相互交流(4人1組)
- 7 学習課題「碗や皿は誰が灰の山に埋めたのか」について簡単な「書く手引き」に従って書き、書いたものを4人1組で交流する。

「書いたものを交流すること」は新学習指導要領で新設されました。

- 8 班の代表として誰のものが1番説得力があるかを話し合いで決め、細かい表現も推敲し、仕上げる。

目的を明確にした相互交流を意図的に設定しましょう。

- 一斉指導(対面席)
- 9 「ヤンおばさん」派1名、「ルントウ」派1名ずつ発表する。

→発表に対する感想・質問を聞く。

→質問に対する答えを聞く。

発表会の指名のルール等を浸透させ、指導者が毅然と発表会を進めることが大切です。

指導者は学習課題の答えを指導案に明確に示しましょう。

「まず書かせること」をねらいとする時には、簡単なものでも「手引き」は極めて有効です。

〔書く手引き〕

私は碗や皿を灰の山に埋めたのは \_\_\_\_\_ だと思います。 組 [ \_\_\_\_\_ ]

その理由は2点あります。1点目は、

2点目は、

評価場面1

- 〈(具体の評価規準)アの② エの①〉
- 〈(評価方法)〉
  - ・発表内容、ノートによる観察
  - ・机間指導による観察
- 〈(手立て)〉
  - ・十分に書けている生徒には、別の人物で書くように指導する。
  - ・書けていない生徒には、根拠となる表現を教え、線を引かせ、その生徒の理解に応じたヒントを与える。

評価規準に達していない児童生徒には具体的な手立てを講じましょう。

- ◎対面席(教室中央に向かって向き合う隊形)にし、「ヤンおばさん」派1名、「ルントウ」派1名ずつ発表させる。【ア①② イ①② エ①】

- ◎発表者には対面する一人を指名させ、指名された生徒は、感想と質問を述べる。【ア①② イ①② エ①】

- 発表した生徒一人一人のよさを具体的に称え、気が付いた点も添える。

学習課題の答え1

私は碗や皿を灰の山に埋めたのはヤンおばさんだと思います。その理由は2点あります。1点目は、「飛ぶように走り去った」「よくも思うほど速かったそうだ」という表現がウツがばれないうちに…ということを表していると思ったからです。2点目は、魯迅は、ルントウを同情すべき社会の被害者として描いていると思ったからです。

学習課題の答え2

私は碗や皿を灰の山に埋めたのはルントウだと思います。その理由は2点あります。1点目は、「わら灰もみんな欲しい」と言っている時点で、ルントウは碗や皿を埋めておいてもっていく考えだったのだと思ったからです。2点目は、ルントウは被害者ではあるけれども加害者性ももった人物で当時の社会がルントウをここまで変えてしまったのだと魯迅は描いていると思ったからです。

授業の最後に児童生徒が当該授業で学習した内容を振り返る機会を設け、学習内容の確実な定着を図りましょう。

- ◎「ヤンおばさん」や「ルントウ」の生き方、「わたし」の思い、魯迅の訴えたかったことに思いを巡らせて、発表をよく聞き、感想・質問を通して作品をより深く理解しようとしている。【ア①② イ①② エ①】

- 阿Q正伝のあらすじや共感できたところ等を紹介する。

3

まとめ

読書へつなげる学習過程を常に意識しましょう。ここでは、他の作品の紹介に留まっていますが、発展的な読書を単元計画の中に位置付けることも大切です。

単元末における読書紹介は極めて重要です。感動したところや共感できたところ等を教師自身の言葉で語りましょう。